

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	5d	職員からの気付きやアイデアはあるが、口頭でのやりとりが多く、個別に記録はしていない。	個別記録を残し、職員同士で検討することでサービスの質向上に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・気付き、アイデアノートを作成。 ・毎月のミーティングでの検討結果をそのノートに記載。 ・実行される内容について職員で共有し継続できるようにする。 ・実行された内容を振り返り検証する。 	3 か月	
2	49d	運営推進会議時に、外部評価結果は報告されているが、目標達成計画については報告していない。	運営推進会議にて、目標達成計画について報告し、構成員からの意見を踏まえ、更なる適正な施設運営に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年6月の運営推進会議にて報告。 ・構成員の意見を踏まえ、計画達成に向けて取り組んで行く。 ・取り組んだ内容を、改めて運営推進会議で報告。 	3 か月	
3	50e	家族アンケートの結果を踏まえた取り組みに工夫が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価の結果や今後の取組み内容を家族様にお知らせしご意見を踏まえ、更なる適正な施設運営を図る。 ・防災計画や災害時対応について、ご意見を踏まえ、更なる適正な施設運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価の結果及び取組みを運営推進会議で報告する。参加されない家族様にはまとめたものを郵送でお知らせする。 ・防災計画や災害時対応等、掲示物を案内する。 ・避難訓練の実施結果を郵送にてお知らせする。 	3 か月	
4	17	食事が待ちどうしくなるような、美味しく味わえるような雰囲気作りの工夫ができていない。	入居者さんが、美味しく味わえるような雰囲気を作りたい	現在は、昼食のみメニューを提示しているが、夕食も提示するとともに、出来上がりの写真も一緒に掲示出来るようにする。	1 か月	
	17	利用者さんの好みや旬の食材が取り入れられた献立になっていない。	利用さんから現状の食事に対する意見や食べたい物を献立に反映する。	利用者さんに食に関するアンケートを行なう。内容(現在の食事について、好きな食べ物、食べたい物などの項目でアンケートを行う。)	1 か月	
5	29	ユニットの入り口が一時的に施錠される。	施錠をやめる	利用者さんの行動をよく観察することにより、廊下を歩き来する理由や時間帯をよく把握し施錠しなくても済む時間帯を少しずつ増やしていき、最終的には施錠をしなくても済むようにする。	2 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()